

グループホームフィオーレ弥生
小規模多機能型居宅介護フィオーレ弥生
アシストリビングホームフィオーレ弥生
運営推進会議議事録

日付：令和 7 年 6 月 17 日（火）

時間：13：30～14:00

場所：グループホームフィオーレ弥生

司 会： 森本一美（グループホームやよい ホーム長）
増山 文人（小規模多機能型居宅介護やよい 管理者）

1. 事業運営報告

グループホームフィオーレ弥生

■ 5 月 6 月の介護別サービス利用状況

	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
5 月	0 名	3 名	5 名	4 名	2 名	3 名	17 名
6 月	0 名	3 名	5 名	5 名	2 名	2 名	17 名

利用状況

- ・ 男性 7 名 女性 10 名 計 17 名
- ・ 車椅子 9 名
- ・ 最高年齢 男性 95 歳 女性 102 歳 平均年齢 88 歳
- ・ 平均介護度 2.7
- ・ 空き状況 1 名 待機者 0 名

入退去内訳

【退去】

- ・ 5/13 看取り介護にて逝去
- ・ 5/23 看取り介護にて逝去

【入居】

- ・ 4/28 （自宅で倒れ入院治療後、入居）
- ・ 5/5 （在宅介護困難となり入居）
- ・ 5/6 （他介護施設より転居）※入居されているご家族からの紹介

小規模多機能型居宅介護フィオーレ弥生

■ 5月6月の介護別サービス利用状況

	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
5月	1名	3名	7名	7名	5名	2名	25名
6月	1名	3名	7名	7名	5名	2名	25名

利用状況

- ・男性 9名 女性 16名 計 25名
- ・車椅子 9名
- ・最高年齢 男性 94歳 女性 99歳 平均年齢 86歳
- ・平均介護度 2.9
- ・空き状況 通い・訪問 4名 待機者 3名

入退去内訳

【退去】

- ・6/24 長期入院の為、退去

【入居】

- ・7/10 老健より新規入居

2. サービス内容・行事等

グループホームフィオーレ弥生

5月

- ・各ユニット毎で懇親会を開催
(スタッフの入れ替えあり、なごやか亭&まつりやのお寿司をテイクアウトし食事を通して交流を図る)

6月

- ・ホットケーキ作り
- ・おはぎ作り
- ・ゼリー作り
- ・お好み焼き、焼きそばパーティー 等

※特に日付は決めず、「今日、何食べたい?」「何したい?」等、本来の少人数でアットホームなグループホームの特徴を生かした取り組みを今後の目標とし実践中。

小規模多機能型居宅介護フィオーレ弥生

5月

- ・5/12 きゃあ餅作り

5/7～13 花見レク

5/28 プレゼント集めレク

6月

6/4 棒ホッケー

6/11 プリンアラモード作り

6/18 あじさい壁掛け作り

3. 5月6月の事故報告

グループホームフィオーレ弥生

5月

インシデント 3件 皮膚変色2件、内服薬のこぼれ落ち1件

6月

インシデント 5件 車いすからの転落1件、ベッドからの転倒3件、内服薬のこぼれ落ち1件

小規模多機能型居宅介護フィオーレ弥生

5月

アクシデント 1件 窒息事故

インシデント 8件 転倒5件、ずり落ち3件

6月

インシデント 3件 転倒2件、尻もち1件

ヒヤリハット 3件 ベッドよりマットレスに下りる

4. その他

グループホームフィオーレ弥生

職員の採用

5/15 パート職員 1名

5/15 正職員 1名

6/1 正職員 1名

職員の異動

6/1～小規模弥生へ

6/16～本社勤務へ

職員の退職

6/12付 病気により退職

介護福祉士 9名

介護初任者研修等 3名

小規模多機能型居宅介護フィオーレ弥生

職員の採用

6/1 正社員 1名

職員の異動

6/1 グループホームフィオーレ弥生異動

職員退職

8/20 退職

介護福祉士 7名

介護初任者研修 2名

□質疑応答

○物価高騰により入居費用が上がり、生活保護者の受け入れ先が少ない状況にある。

当施設での受け入れは可能か教えてほしい。

- ・受け入れは可能ですが、物価高騰等により利用料が値上げされ保護の支給費だけでは足りない状況です。不足分や日用品費などの費用をご家族の支援が頂ければ可能です。

○看取り介護について

- ・認知症が入院すると、病状に対しての理解が出来ず点滴を外したり、動いてしまい手足を縛られてしまう事が多い。回復が難しい状況の場合はご家族、かかりつけ医に相談し、慣れた場所、慣れた人の中で最期を迎えて頂く看取り介護を行っている。

ただ、介護員の経験値が異なり、例えば褥瘡予防の為の体位交換の技術等にも個人差があるのが現状で、会社で自動体位交換マットを購入した。今後、介護技術の講習会等を行い、知識の向上を目指したい。

又、認知症や高齢者介護で困っている方々が気軽に相談できる場所になり、地域に貢献できる施設を目指していきたい。